

「直ちに実施できる方策」について

矯 正 局

- 1 「保護房」収容中のビデオ録画等の義務化
- 2 C型肝炎の早期発見及びインターフェロンの投与等治療の充実
- 3 処遇（被収容者）関連情報等の定期的な公表
- 4 心理技官等専門職員による処遇困難者へのカウンセリングの実施
- 5 「死亡帳」記載の適正化等被収容者死亡時の対応
- 6 矯正職員の「相談・提言窓口」の設置

保護房収容中のビデオ録画の義務化等

従来の取扱い
書面記録のみ

保護房収容

総合監視卓におけるテレビ映像による動静視察

動静記録簿等への記録（ビデオ録画義務なし）

保護房での職員による定期的な動静視察

動静記録簿等への記録

革手錠等戒具使用

戒具使用書留簿・動静記録簿等への記録（ビデオ録画義務なし，本省・矯正管区への報告不要）

改善済

革手錠使用案件の全件報告

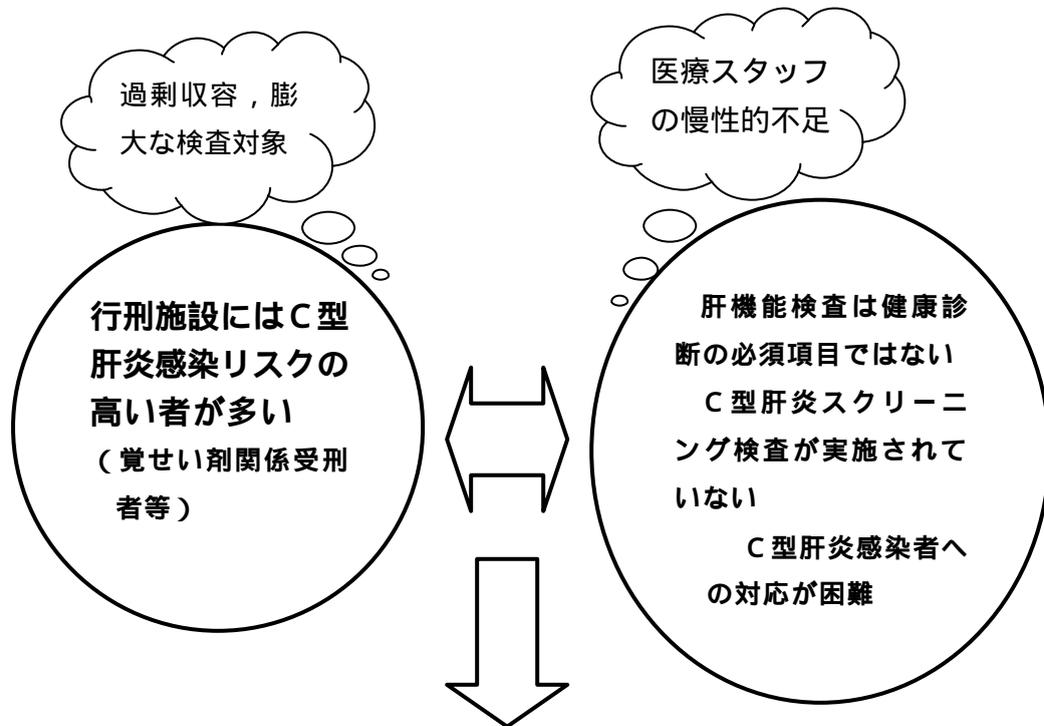
革手錠使用中全期間の

予算措置

ビデオ録画

保護房収容中全期間（24時間）—— 義務化

C型肝炎の早期発見及びインターフェロンの投与等治療の充実



所要経費の確保

肝機能指標を含む一般血液検査の実施

C型肝炎スクリーニング検査の実施

医師が必要と認める治療(インターフェロンの投与等)の実施

定期健康診断の外部委託

処遇(被収容者)関連情報等の定期的な公表

隠蔽体質

との批判

被収容者のプライバシー・施設警備上の問題等々

不慣れな対応, 不十分な情報の公表

改善済

死亡事案の公表
(公表基準の策定)

積極的な公開

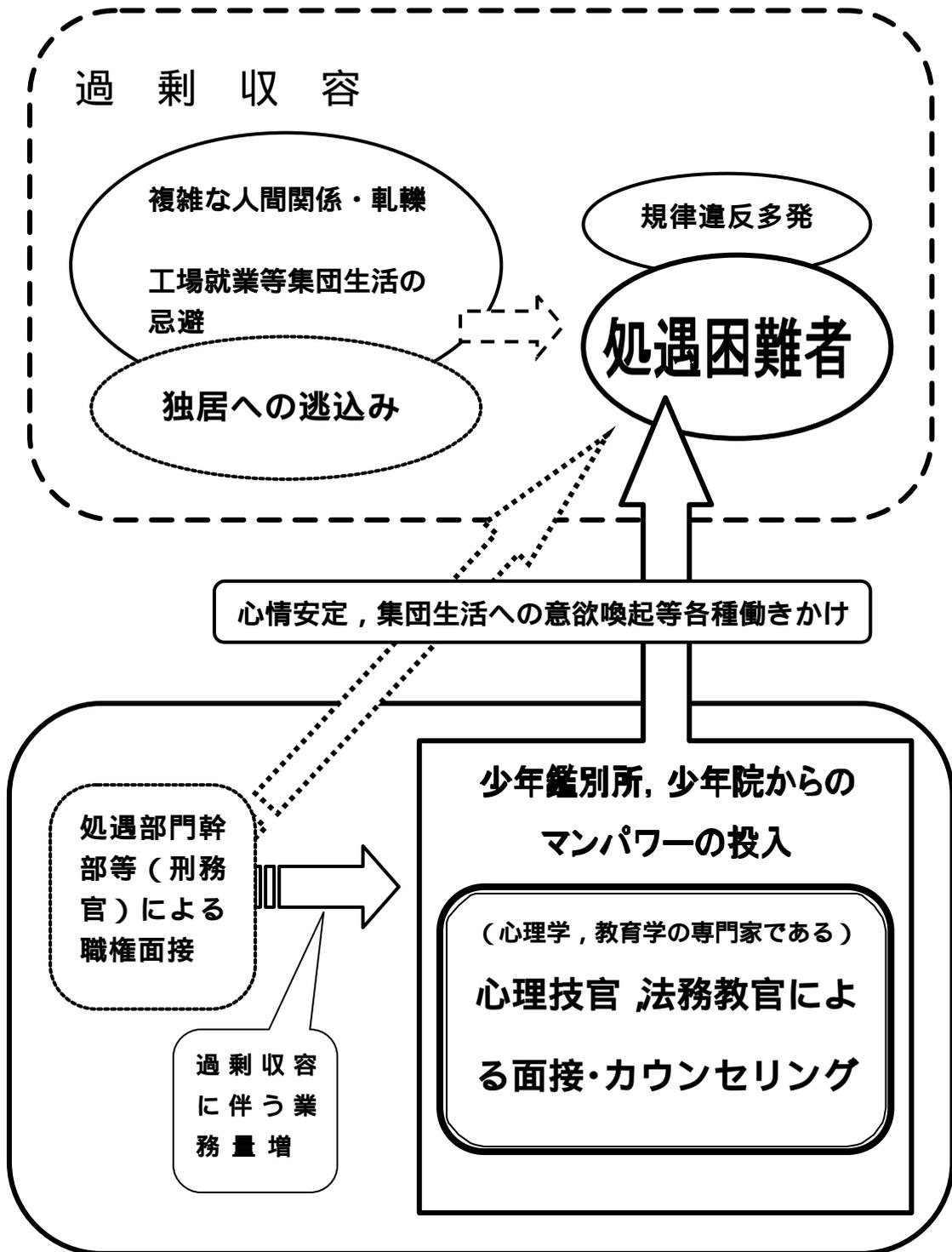
矯正管区による管内処遇情報等の定期的な公表

<具体例>

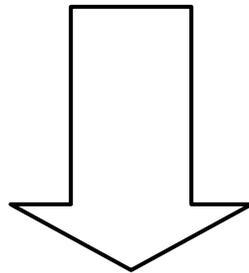
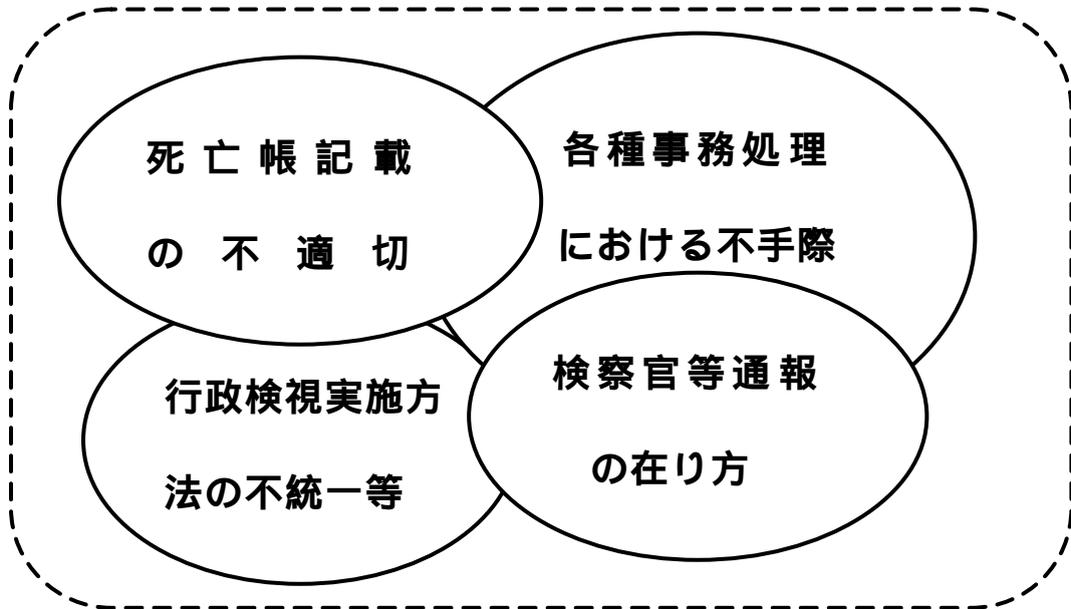
管内施設における当該月の, 収容人員の推移, 死因別死亡者数, 規律違反件数, 事件送致件数, 保護房使用件数, その他

死亡事案以外の特殊事案公表基準の策定

心理技官等専門職員による処遇困難者へのカウンセリングの実施



死亡帳記載の適正化等被収容者死亡時の対応



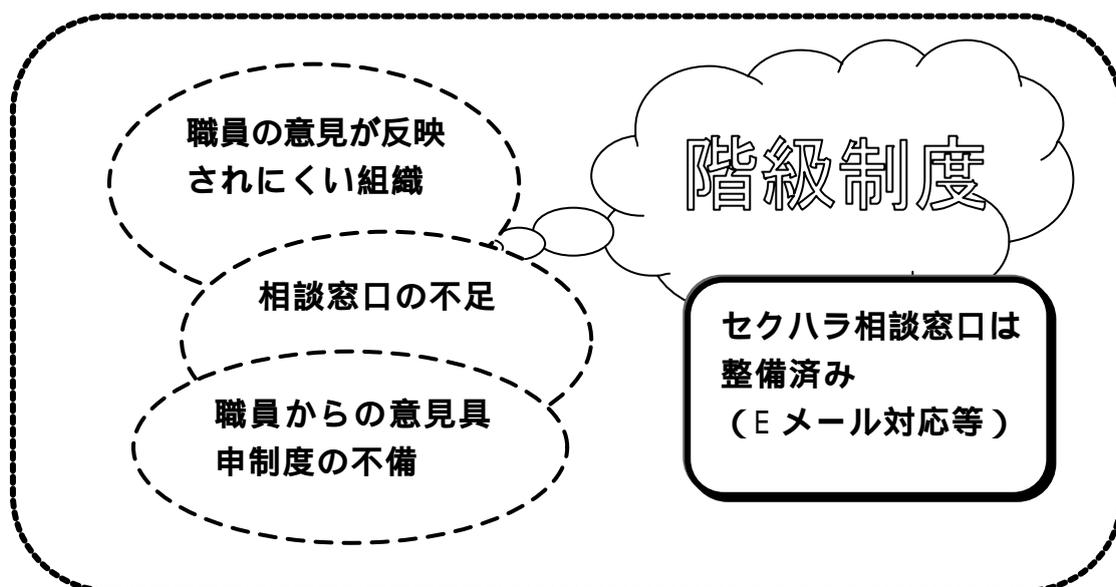
被収容者死亡時に実施すべき**対応標準**の策定

検察官等に通報すべき事案・内容等

死亡帳の記載要領

行政検視の実施方法等

矯正職員の「相談・提言窓口」の設置



職員意見を踏まえた風通しの良い施設運営

矯正局参事官を中心とした相談・提言窓口の設置

職員が発信しやすい環境作り (匿名メール等)

相談・提言内容の吟味・検討

相談・提言の施設運営への反映